

令和4年6月28日(火)
午後4時30分～
日野第一中学校会議室

令和4年度 第1回学校評議員会 議事録

記録者: 仙波

出席者: 和田、木村、谷、石田、三浦、山本、伊野、宮本、下田、青塚、富田、
仙波、須田、真下 (欠席: 山口)

1 校長挨拶 和田校長

2 学校評議員の委嘱及び自己紹介

3 会長・副会長・書紀の選任

会長: 谷 評議員の推薦により決定

副会長: 伊野 評議員の推薦により決定

谷会長より 「これまで歴代の会長は保護士が務めてきた経緯があるため、引き受けさせていただきます。」

4 学校経営方針等について

① 学校経営方針について 資料を基に和田校長が説明

谷: 職場体験で生徒の体験先が100名ほど足りないという話があったが、充足できたのか?

和田: ユニクロ、GUなど企業 商工会議所の協力で確保することができた。

谷: 商工会など、地域の力を活用すると良いと思う

② 教育計画・研究について 資料を基に仙波が説明

谷: 1, 2年生の教育相談で、生徒が先生を指名する仕組みがあるが、教員はどう考えているのか? また、どの先生が指名が多いなどが目に見える悪い影響が懸念されるが。

仙波: 昨年度、担任の負担が大きいため副担任と分担できないかという教員の意見があった。他校で学年担任制などで、学年体制で面談を行っている学校もあり、参考とした。面談を希望する生徒だけが指名するため、偏りは大きくないと想定する。また、デジタルを活用して、誰がどの先生を指名したかがわからない仕組みを作ることを計画している。

③ 生活指導について 資料を基に須田が説明

下田: ジャージ登校が多いが、制服登校に切り換えるタイミングは考えているのか。

須田: 2学期以降、制服に戻すことを検討していく。更衣室が狭いことが一因である。

下田: バレー部をやりたいという子供の家庭の母から聞いたが、バレーをやる部活は少ないのか?

須田: 部活動を発足するには顧問がいないと成り立たないため難しい。

下田：地域に指導者がいれば新しく部を発足することができるのか。

須田：部活動指導員という仕組みがあるが、日野市の財政的な問題で部活動指導員を充足できない現状がある。

④進路指導について 資料を基に真下が説明

青塚：ユーチューバーなど、組織に属さなくても一定の収入を得て生活している人もいる中で、安易に家でネットなどを使って生計を立てようという風潮が出てきている。職場体験も有用だと考えるが、ユーチューバーなどの最近の職業の方からの話もあると生徒がしっかりと判断できると良いと感じた。

真下：職場体験は対面で人に役に立つ喜びを感じることができて良い経験となる。昨年度は卒業生の谷プラスワンさんの話を聞いて、実際の話しが聞けてよかった。

全体を通しての質疑応答

○下田：入学前の2月の時点で制服を買えないという生徒の保護者から相談があった。知り合いのついでで融通することができた。大坂上中では卒業生から回収した制服をPTAが集めて販売していると聞いた。

青塚：制服のリユースを行っているが、PTA会費を使って管理をしたり、清掃したりしている。希望者には貸出をしている。入学前に困っている方がいるという話を聞いたが、PTA会費を使っているため、入学前のPTAに加入していない方に渡すのはどうかという話になった。入学後に、PTAが保管しているものを貸してほしいという要望があればすぐに対応できる。

谷：12年くらい前から、衣装ケースがあったと思うが。

青塚：1階のPTA室に保管していたものは、すべてカビてしまっていて、3年くらい前に一度すべて処分した。今は3階の被服室に保管している。

青塚：最近ではPTA加盟率の問題もあるので、本校はほとんどの家庭が加盟している。卒業時にコサージュを渡していて、どうしようかという話は出ているが、今は殆どの家庭が加盟しているので一律に全員に渡している。今後加盟数が少なくなってきたときには検討が必要である。

5 総括

○谷：みなさんからお言葉をいただき、最後に校長から述べてもらう形が良いと思う。

→石田校長から全員発言

○谷：スクールロイヤーについて、八王子では常駐の制度があるが日野市では制度がない。校長会でも検討し、日野市に意見を出すと良い。

○谷：部活動指導員の予算が足りないことについても、校長会を通して要望を出してほしい。

6. 今後の予定の確認

○和田：次回は学校評価の方法についてお示ししたい。

次回の予定は12月上旬の火曜日の夕方で開催が良いか。

12月8日（木）16：30を候補に予定を立てる。